

平成 26 年 6 月 箱根町教育委員会会議 会議録

期 日： 平成 26 年 6 月 25 日（水）

場 所： 箱根町立郷土資料館 教育委員室

出席者： 唐澤久雄委員長、菅井清登委員、石井清美委員、勝俣正志委員、
小林恭一教育長

勝俣敏教育次長兼学校教育課長、大和田公一生涯学習課長、加藤和子社会教育センター副技幹（司書）、石川憲一学校教育課副課長、藤田貴嗣学校教育係長

欠席者： なし

傍聴人： なし

議 事：

1 開 会

委員長より、開会の宣言【午後 3 時 00 分開会】

2 前回会議録の承認について

会議録が承認され、教育委員全員署名

3 教育長等諸報告について

(1) 教育長より報告・謝辞

(2) 学校教育課副課長より、5 月教育委員会会議以降、6 月教育委員会会議までの間における会議等への出席に関する謝辞・報告

(3) 学校教育課副課長より、6 月教育委員会会議以降、8 月上旬までの間における会議・行事等の予定連絡

4 議 第

(1) 請願第 2 号 教科書採択地区についての請願

学校教育課副課長 〔請願第 2 号文書表朗読。〕

委員長 本件については 5 月の定例会において、同じ件名の請願が出ており、審議の結果、不採択となりましたことを同人へ回答いたしましたところ、平成 27 年度以降の小中学校教科書の採択に係る請願という趣旨が不明確だったということで、改めて請願要旨の説明文が添付された請願書が再提出されましたので、再審議を行うものであります。

教育次長 5 月の請願書では、単に共同採択を取りやめて足柄下地区各教育委員会の単独採択に変更していただきたいと記載されていましたが、本来の請願趣旨は、平成 27 年度以降の小・中学校教科書の採択に際しては、足柄下地区の各教育委員会による単独採択化をお願いしたいということで、改めて請願事項に一部文言が追加され、再提出されたものでございます。5 月の請願書と比較して違っている箇所は、「足柄下地区の教科書採択について、平成 27 年度以降は共同採択を取りやめ、」の中で、「平成 27 年度以降は」が追加されているのみで、その他に違いはございません。

委員 「平成 27 年度以降」となるとどうなるわけですか。

教育次長 平成 27 年度に中学校の教科書採択となりますので、来年度以降もずっと共同採択の方式を採るといことです。

委員 平成 28 年から 4 年間は、平成 27 年度に共同採択した教科書を使用するわけですね。平成 26・27 年度のような 3 町で集まっての採択はしない訳でしょうか。

教育次長 そのとおりです。次の採択替えまでは共同採択使用教科書を採択していくこととなります。

委員 この請願では、平成 27 年度以降の単独採択としているが、来年度は単独採択ができるのでしょうか。平成 27 年度については、5 月の審議の折に、教科書の調査・研究が単独ではできない、各教科に調査員を配置できない、との理由で町単独採択はできないとしましたが、今後ずっと共同採択の方式を採る以外に方法は無いのではないかと思います。

教育長 私も現状では共同採択をしなければならないと思います。次の採択替えまでは、この共同採択した教科書を町で採択する訳ですが、次の採択替えまでの期間も各教科に調査員を配置できないと思いますので、共同採択を採らざるを得ない。だから、平成 27 年度以降も町単独採択はできないと考えています。

委員 確認ですけど、教科書の調査・研究は小田原市と下郡 3 町と共同で行うとしても、小田原市は各教科に調査員がいますけど、下郡 3 町は各教科に調査員がいないということで、下郡 3 町では、その調査・研究の結果の報告についても、各町単独ではできないということですね。

教育次長 そのとおりです。

教育長 箱根町の状況を考えると、今でさえ児童数が少なくなっています。今後、4 年間は考えても、少子化は避けて通れない大きな課題であり、学校規模ももっと小規模になることが予想されます。現状の方法では、共同採択を採らざるを得ないのではないかと思います。

委員 さらに少子化が進めば、統合や小・中一貫教育を考えざるを得ない時代が来ます。その時、やはり教科書のことが大きな課題となってくると思います。平成 27 年度以降ずっとという考えはできないのではないのでしょうか。

委員 平成 27 年度以降ずっとではなく、社会・教育環境等を考慮して、共同採択の在り方は検討すべき課題としていったらどうでしょうか。

委員 共同採択の在り方も下郡 3 町共同で考えていかなければ、町単独で答えを出すことはできない問題だろうと思います。

委員長 だいたい意見が出揃いましたので、請願第 2 号を採決いたします。この請願を採択してよろしいと思われる方は挙手をお願いします。

[挙手なし]

委員長 挙手がございますので、不採択ということでよろしいでしょうか。

委員 先程の意見にもありましたように、ずっと町単独採択ができないというのではなく、社会状況の変化や教育環境の変化、少子化等のことを踏まえ、次の採択替えまでには、3 町の教育委員会事務局で採択方

法のシステムを検討していくという考え方はいかがでしょうか。

委員長 それでは、今の意見について、ご意見をいただきたい。

委員 同じです。次の指導要領の改訂や社会状況等の変化も考慮し、真剣に検討していく必要があると思います。

委員 賛成。

委員長 それでは、次の採択替えまでには、事務局として、指導要領の改訂や社会状況等の変化も考慮し、採択方法のシステムも含め、検討していく必要があるということを加味し、請願2号は趣旨採択としたいと思います。趣旨採択に賛成の方は挙手をお願いします。

[全員挙手]

委員長 全員賛成ということで、請願第2号は趣旨採択といたします。

(2) 議案第18号 箱根町社会教育指導員の委嘱について

学校教育課副課長 [議案第18号朗読。]

生涯学習課長 ただ今、上程いたしました議案につきまして説明させていただきます。社会教育指導員については昨年度まで4名の方を委嘱してきましたが、今年度、うち1名の方が更新しないということになり、これまで1名減という状態でしたので、この度1名追加委嘱しようとするものであります。[追加で委嘱する候補者のプロフィール等を紹介。]

委員長 それでは、採決したいと思います。議案第18号については、原案のとおりでよろしいでしょうか。

委員 結構です。

委員長 全員賛成ということですので、議案第18号については、原案のとおり決定いたしました。

(4) (報告事項) 教育委員会事務局職員の人事異動について

教育次長 指導主事を6月1日付けで、指導専任課長へ昇格させる人事異動を行いましたことをご報告させていただきます。

(5) (報告事項) 平成26年度学校評議員について

学校教育課副課長 [箱根中学校学校評議員を6月10日付けで1名追加委嘱して、1中3小すべての平成26年度学校評議員の委嘱が完了した旨、説明。]

(6) (報告事項) (箱根中学校) 土曜授業の実施について

学校教育副課長 [先般の大雪のような事態を踏まえ、箱根中学校が天災による休校措置の対応策として、本年度、土曜授業等を3日実施することにした旨、説明。]

(7) (報告事項) 第1次子ども読書推進計画の検証結果について

生涯学習課長 [標記計画の検証結果等について説明。]

委員 プラスもあればマイナスもあるようですが、5年間やった成果としては、総体的には効果があったということでしょうか。

生涯学習課長 端緒にはついたかなというところです。さらに、もっと肉付けをしていくということかと思います。

委員 読んでいる人は読んで、読んでいない人は読んでいないということでしょうか。

副技幹(司書) 統計の取り方が現行のシステムだと出来ないのですが、学校でのキツキ読書月間という取り組みで年に一度はクラス全員で借りるようにしようということで、先生が引率して連れてきてくれるような取り組みを新しく始めてから、その後も個人的に通い始めるようになったお子さんも見受けられます。ただ、これを継続させていく難しさ、ずっと続けて読んでもらえるような工夫をしていければと思います。

委員 あえて言うとするならば、5年間という長期の中では、そんなに目立たなかったという表現でいいのでしょうか。

生涯学習課長 あくまで第1次計画という位置付けがこれだと思っています。数字として表れてこなくても、種を植えたということが、やがて萌芽してというのが第2次計画に向けてということだと思っています。

委員 校長先生方からは、子ども達が本をよく読むようになってきたという評価の声も聞いていますので、そうか向上してきたのか、本を読めば学力も上がってくるということにも繋がってくると思うので、それなりの効果はあったと評価させていただいております。と同時に、まだ伸びしろもあるのだらうと思ってみさせていただいております。

委員長 幼稚園・保育園の児童の保護者から中学校まで、アンケートを取って、これだけの回答が出てくるということは、それだけ保護者の関心も深まり、その話が家庭の中にも出ているということ。そして、われわれもこの調査結果によって見えてきたもの、この先やっていかなければいけないことがはっきりして良かったと思います。大変だったろうけど、素晴らしいです。

生涯学習課長 これを基に、第2次計画のほうに推進していきたいと思っています。

教育長 学校ごとの読書活動のベクトルは上昇傾向でよくなってきているが、担任だとかのバラツキも出てきており心配している。これは家庭学習も同様で、担任によって家庭学習の時間にバラツキがある。だから、調査結果を出すのが目的ではなく、調査して啓発していく、調査することで箱根町が読書に力を入れているのだということが感じてもらえる。大変だらうけど、この継続調査は続けていかなければいけないと思っています。

委員長 ご苦労様でした。

(8) (報告事項) 明星展・社会教育センターまつりの結果について

(9) (報告事項) 箱根町子ども会レクリエーション大会の結果について

生涯学習課長 [標記行事の実施結果等について説明。]

5 閉会

委員長 次回、7月の教育委員会会議の日程については、7月23日(水)午後、真鶴町における足柄下地区教科用図書共同採択協議会からの帰庁後ということにしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。これで閉会とします。 【午後4時52分閉会】